

第18回全国障害者スポーツ大会（福井しあわせ元気大会）プレ大会 兼  
第8回福井県障がい者スポーツ大会  
卓球競技実施要領

1 競技規則

平成30年度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則（公共財団法人日本障がい者スポーツ協会制定）によるもののほか、この要領の定めるところによる。

2 競技方法

- (1) 競技種目は、一般卓球およびサウンドテーブルテニス（以下「STT」という。）とし、5ゲームズマッチ（1ゲームは11点）で行う。
- (2) 試合は、各ブロックのリーグ戦方式で行う。
- (3) 各ブロックは4名以内とし、原則として同一の障害区分および年齢区分の選手で構成する。
- (4) 出場選手の少ない障害区分および年齢区分では、別の障害区分および年齢区分の選手と併せて同一ブロックを構成することがある。ただし、順位の決定、記録の認定および表彰は、それぞれの障害区分および年齢区分別に行う。

3 競技用具・競技条件等

- (1) 一般卓球の競技用具
  - ア テーブルの色は、ブルーを使用する。
  - イ 使用球は、公益財団法人日本卓球協会公認プラスチック球40mm（白球）とする。
  - ウ 競技領域は、長さ10m、幅5mとする。
- (2) STTの競技用具・競技条件
  - ア テーブルの色は、ブルーを使用する。
  - イ 使用球は、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会公認プラスチック球とする。
  - ウ 主催者が用意したアイマスクを着用すること。
  - エ 競技領域は、長さ5m、幅4m以上とする。

4 服装等

- (1) 身体の障がい等により日本卓球ルールで定められた服装の着用が困難な者は、事前に「服装緩和措置申請書」を審判長に提出し、許可を得ること。
- (2) 主催者が交付した番号布（ゼッケン）を競技用服装の背部に付けること。
- (3) 義肢や松葉杖を使用する選手は、特に支障がない限り、接触面にあてがう布やカバー等を用意すること。

5 選手招集

- (1) 選手招集時刻は、試合開始15分前とする。

(2) 選手招集時刻に遅れた選手は、原則として棄権とみなす。

## 6 介助者

- (1) 「介助許可証（ビブス）」の交付を受けた者に限り競技場内に入場することができる。
- (2) 介助が必要な選手については、申込時に介助者の入場申請ができる。
- (3) 競技会場内では、競技者の競技上有利になるような助言等をしてはならない。
- (4) 競技場内に競技上必要な物以外は持ち込んで서는ならない。
- (5) 競技役員の指示に従うものとする。

## 7 その他

- (1) 競技場内へは、選手、監督、コーチ、大会役員、競技役員、競技補助員、実施本部員および情報支援ボランティアならびにあらかじめ許可された介助者、報道関係者および視察員等関係者以外は立ち入ることができない。
- (2) 荒天時他不測の事態が生じた場合の取扱いは、主催者において決定する。